




■ ジェイテクトグループ「2025年環境行動計画」

区分	取組み項目	具体的な実施項目・目標	関連するSDGs
製品・技術	(1)トッパンナーの環境負荷低減を推進する 新技術・新製品の開発	①ジェイテクト社内で設定した環境効率式をグループ各社にも展開 オールジェイテクトとして製品に対して評価向上を目指す	   
	(2)資源の有効利用に配慮した 3 R (リデュース、リユース、リサイクル) 設計の推進	①リサイクルしやすい製品設計の推進 ②小型、軽量化、長寿命化による資源およびエネルギー使用量削減	
	(3)製品に含有する環境負荷物質の管理・削減	①グローバルの化学物質規制対応の推進および管理の定着	
	(4)設計・開発段階での環境アセスメントの展開	①設計・開発段階での環境評価による環境配慮型製品への促進	
	(5)製品によるCO ₂ 削減貢献	①環境配慮型製品への切替率向上によるCO ₂ 排出量削減 ②製品使用時のCO ₂ 削減貢献を2025年度までに165万トン以上とする。 (10年間使用時のCO ₂ 削減貢献量)	
低炭素社会の構築	CO ₂ 排出量の削減	《生産》 ①工場の日常改善活動によるCO ₂ 削減活動の推進 (生産性向上の追及、高効率機器採用、省エネ診断等の取組みを展開) ②生産技術革新による低CO ₂ 生産技術の開発・導入	   
		《物流》 ①物流効率の向上および燃費向上によるCO ₂ 排出量削減	
循環型社会の構築	資源の有効利用	《生産》 ①発生源対策による徹底的な排出物削減の推進 ②再資源化による最終処分量の削減	   
		(3)生産における水使用量の削減	
		《物流》 (1)ワンウェイ梱包資材使用量の削減	
生自然多様性・生物多様性の保全	(1)生産活動における環境負荷物質の低減	①PRTR対象物質の排出・移動量の低減 ②洗浄工程でのVOC使用量全廃による環境負荷物質低減	   
	(2)生物多様性への取り組み	①「生物多様性保全行動指針」に基づく環境活動の推進 ②ジェイテクトグループで「地域とつなぐ」生物多様性保全活動の推進 ジェイテクトグループ全体で2025年度までに活動参加者数を3,000人以上とする。	
環境マネジメント	環境経営	(1)連結環境マネジメントの強化、推進	   
		(2)ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	
		(3)サステナブルプラント活動の推進	
	地域環境の維持および改善、コミュニケーションの構築	(3)環境教育活動の推進	 
		(4)環境問題の未然防止の徹底と法基準の遵守	
		(5)地域住民との良好な関係の構築	
(6)環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実	①環境レポートの公開の推進、官庁、地域住民とのコミュニケーションを図る。 ②積極的な情報開示によるブランドイメージと外部評価の向上		